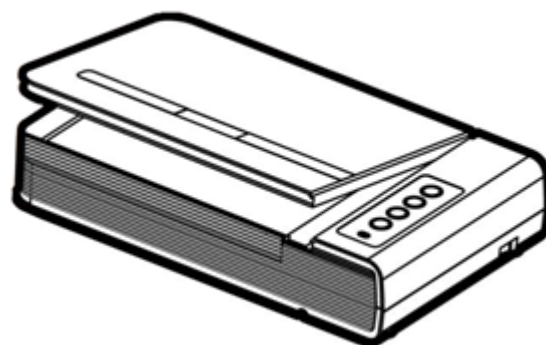


plustek

スキャナ ユーザーガイド OpticBook



登録商標

© 2022 すべての権利を留保されます。本印刷物のいかなる部分も許可なしに複製することはできません。

Plustek は、Plustek 社の登録商標です。OCR 処理技術は、ABBYY® FineReader®, © 2022 ABBYY 提供です。ABBYY および FineReader は、ABBYY Software, Ltd の登録商標であり、幾つかの法的機関にも登録されています。

本印刷物に記載されている商標およびブランド名はすべて各社の所有物です。

免責事項

本マニュアルの内容の正確さを保つため最大限の努力を払っておりますが、誤記、欠落、本マニュアルの記載内容により生じたいかなる過失、事故、その他の因果関係について弊社では一切責任を負いません。本マニュアルの内容は予告無く変更されることがあります。ユーザーが当マニュアルの指示に従わなかった場合、当社は法的な責任を一切負いかねます。

著作権

小切手、紙幣、ID カード、債権、公的書類等をスキャンすることは法律で禁じられています。また刑事訴追される場合があります。本書で使われている全ての商標、ブランド名は知的所有物です。本書を許可無く複製することは禁じられています。また本、雑誌、その他をスキャンする際には著作権法を遵守してください。

環境に関するお知らせ

製品寿命に達した際のリサイクルや廃棄に関しての詳細は、最寄りの代理店か販売店にお尋ねください。本製品は地球環境を壊さないよう設計、製造されています。弊社ではグローバルな環境基準沿った製品造りを心がけております。廃棄の方法についてはご使用している地域の関係機関にお問い合わせをしてください。

商品のパッケージングはリサイクル可能です。

当マニュアルでの画像例

本書で使われているスクリーンショットは Windows 7 で作成されました。Windows XP / Vista / 8 / 10 / 11 を使用されると本書のものとは違って見えることがありますが、その機能は同じです。

目次

はじめに.....	1
本書の使い方	1
本書の表示	1
アイコンについて.....	2
安全上のご注意	2
必要システム構成.....	3
梱包箱の内容物.....	3
スキャナの概要	4
第1章 スキャナーの設置	5
ソフトウェアをインストールするにあたっての要件	5
ハードウェアの要件	5
スキャナーの設置と設定	6
ステップ1. スキャナーのコンピュータに接続します	6
ステップ2. ソフトウェアのインストール.....	7
ステップ3. スキャナーのテスト.....	8
ソフトウェアトラブルシューティング	9
追加のソフトウェアのインストール.....	10
第2章 使用方法とメンテナンス.....	11
スキャン操作	11
準備.....	11
イメージのスキャン.....	12
<i>TWAIN</i> インターフェイスを介してスキャンする.....	12
スキャナーのパネルのボタンまたはBook Pavilion のメニュー画面からスキャンする	13
スキャナーの接続	15
スキャナーの調整	15
スタンドバイモード	16
スキャナーのロック	17
使用方法とメンテナンス	17
別表A: 製品仕様.....	18
別表B: カスタマーサービスと製品保証	19
サービスおよびサポート情報.....	19
製品保証	19
FCC規格	20

はじめに

Plustek のスキャナをお買い上げいただきありがとうございます。弊社製品が日々の電子イメージ、テキスト入力作業にお役にたてることを切望しております。

弊社の製品は全て出荷前に検査を行っており、お客様がご満足して使用いただけるよう万全を期しております。

お客様のスキャナサプライヤーとして弊社をお選びいただきありがとうございます。今後ともお客様のコンピュータ関連のニーズのために弊社の優れた商品をご利用いただけることを願っております。

本書の使い方

本書ではスキャナーの設置及び取扱い方法を説明しております。ご使用になる方が Microsoft Windows の操作に慣れていることを前提に本書は書かれています。必要に応じて Microsoft Windows のマニュアルを参照してください。

はじめにの項では梱包箱の内容説明、スキャナーを使用する際に必要なコンピュータのシステム構成等が書かれています。設置前には全ての部品が揃っているか必ず確認してください。欠品または損傷があった場合には速やかにお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

第一章ではコンピュータスキャナのソフトウェアのインストール方法、スキャナーとコンピュータの接続を説明しております。スキャナーは USB をコンピュータに接続されます。コンピュータで起動していないコンピュータを使用する場合には USB インターフェイスカードをお買い求めになり USB 機能を追加してください。マザーボードが USB 機能を持っている場合には USB コネクタを購入、取付けを行ってください。本書はお使いのコンピュータが USB を使えることを前提に書かれています。

第二章では使用方法、メンテナンス、清掃の仕方について説明しております。

別表 A はご購入いただいたスキャナーの仕様が記載されています。

別表 B は製品保証並びに FCC に関する記述が記載されています。

本書の表示

[XXX] – コマンドまたはコンピュータスクリーンの内容

Italic (イタリック) – 重要事項

Bold (太字) – スキャナーのボタン

アイコンについて

本ガイドでは、特別な注意が求められる情報を示すために以下のアイコンを使用します。



警告

負傷または事故を防ぐために注意して従わなければならない手順。



注意

覚えておく価値があり、間違いを防ぐための重要な指示。



情報

参照のための、オプションの知識とヒント。

安全上のご注意

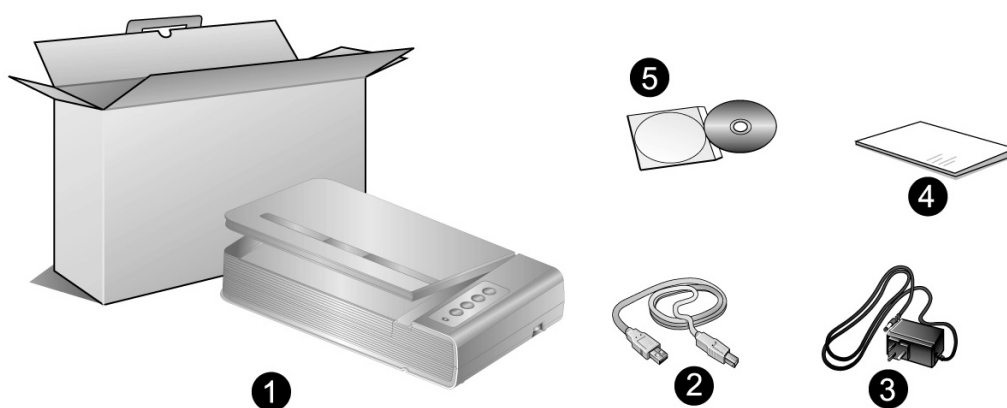
故障、人体を損傷することがないように、本機をご使用になる前に以下の重要なインフォメーションをお読みください。

1. 当製品の使用箇所は屋内の乾燥したところです。下記の状態では本機の内部に結露が発生し故障の原因となることがあります：
 - 本機を冷たい場所から暖かい場所に直接移動させて時
 - 冷たい部屋を暖めた時
 - 本機を湿度の高い場所に置いた時結露を防止するために下記の
 - ① 本機をプラスチックバッグに入れ密封して室温になじませてください。
 - ② 1-2時間おいてから本機をバッグから出してください。
2. キャナに付属されている電源アダプタ及び USB ケーブルを必ず使用してください。他の電源アダプタやケーブルを使用すると故障の原因となることがあります。
3. 緊急時に AC アダプタを素早く抜けるよう AC アダプタの周囲は空けてください。
4. 配線の破損は出火、電気ショックの原因となります。電源コードはまっすぐ伸ばし、よじったり、曲げたり、擦ったりしないでください。
5. 夜間、週末等ある期間本機をしない場合には出火の原因を排除するため電源を抜いてください。
6. スキャナーを解体しないでください。電気ショックの危険があるため、スキャンを開くと保証の対象から外れます。
7. スキャナのガラス面はこわれやすいので物をぶついたり、叩いたりしないでください。

必要システム構成¹

- 2.0 GHzCPU プロセッサ以上[1] [2] [3]
[1]推奨される Windows:4CPU コア以上の 2.8GHzIntel®Core™i5 プロセッサ
[2] MacINTEL および M1 ベースのプロセッサをサポート
[3] PowerPC との互換性はありません
- 最小 4GB の RAM(推奨:8 GB 以上)
- プログラムインストール用の 6GB のハードディスク容量
- 1024x768 以上のディスプレイサイズ
- オペレーティングシステム: Windows XP / Vista / 7 / 8 / 10 / 11

梱包箱の内容物²

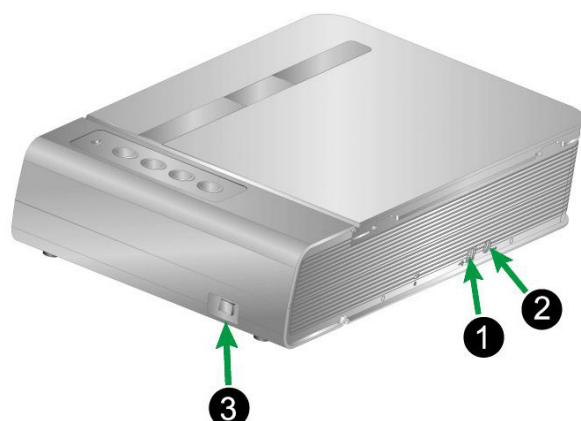


1. スキャナー
2. USB ケーブル
3. AC アダプタ
4. クイックガイド
5. 設定／アプリケーション DVD-ROM

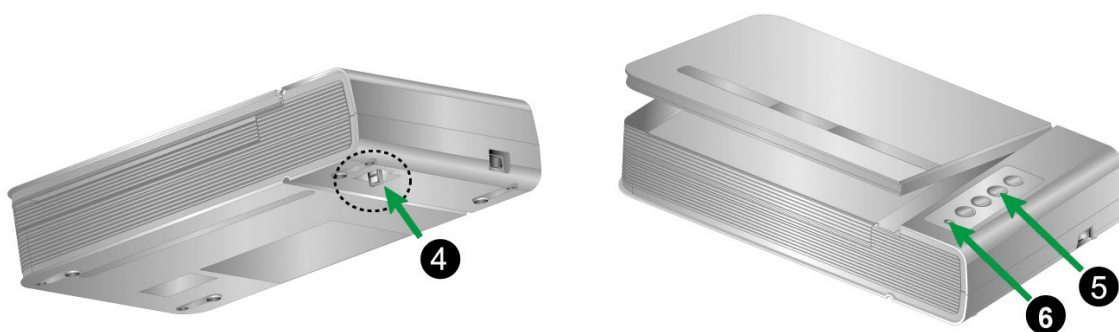
¹ 大きなイメージデータをスキャン、編集する場合にはより高い仕様が必要となります。
本書で示す必要なシステム構成は目安であり、コンピュータの性能が上がる程よい結果が得られます。

² スキャナを輸送するのために梱包箱は保管しておいてください。

スキャナの概要



1. **USBポート**: PC とスキャナーを付属の USB ケーブルでここに接続します。
2. **電源コードレセプター(受け口)**: 付属の AC アダプタのコードをここに接続します。
3. **電源スイッチ**: スキャナーの電源を ON/OFF します。



4. **スキャナーロック**: 輸送中スキャンヘッドを固定します。
5. **スキャナーボタン**: このボタンを押して、予め設定したスキャンングタスクを実行します。
6. **パワー LED**: スキャナーの状態を表示します。

LED	状態
On	スキャナーに電源が入っており、スキャンが可能な状態。
Off	スキャナーに電源が入っていない。電源コード、AC 電源が正しく接続されていない。

第1章 スキャナーの設置

スキャナーを設置する前に全ての構成部品が揃っているか梱包箱の内容物の項にあるリストに従って確認してください。

ソフトウェアをインストールするにあたっての要件

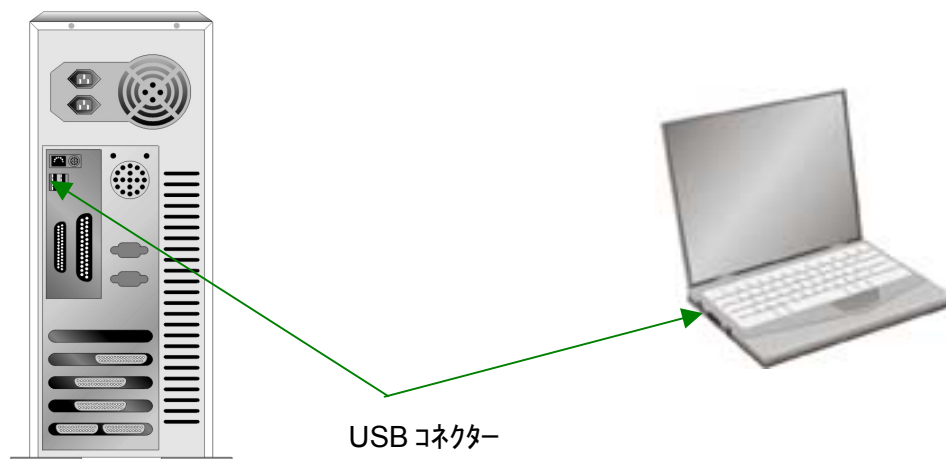
スキャナーにはスキャナドライバ及 Book Pavilion ソフトウェアが付属されています。これらのソフトウェアをインストールした後にハードディスクに約 6GB の空き領域が必要です。インストールのための十分なスペースとスキャン画像の保存のためには最低でも 6GB の空き領域がハードディスクにあることを推奨しています。

USB スキャナーは Microsoft Windows XP / Vista / 7 / 8 / 10 / 11 のオペレーティングシステム上でのみ動作します。

ハードウェアの要件

本スキャナーは Plug & Play をサポートしている USB を介してコンピュータと接続されます。USB ポートについてはお使いのコンピュータのマニュアルを参照してください。

通常コンピュータには下図のように USB ジャックが付いています。

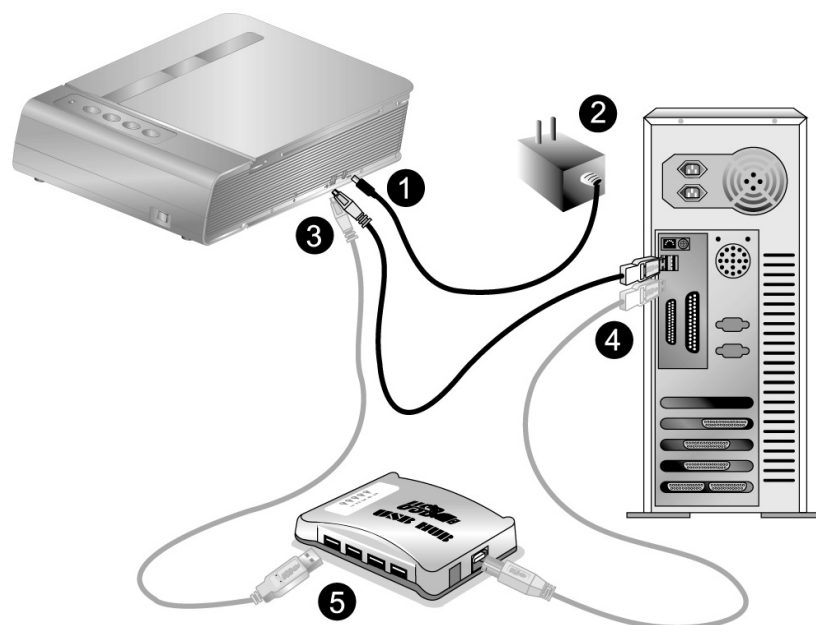


お使いのコンピュータに USB ポートがない場合には USB インターフェイスカードを購入して USB 機能を追加する必要があります。

スキャナーの設置と設定

スキャナーを設置するにあたっては以下の手順に従ってください。

ステップ 1. スキャナーのコンピュータに接続します



注意

電源の入り切りの前には必ず、スキャナーの電源スイッチ OFF にしてください。

1. スキャナーの電源レセプタに AC アダプタを接続します。
2. 電源ケーブルの反対側を AC 電源につなぎます。
3. 同梱の USB ケーブルの正方形の端をスキャナーの背面の USB ポートに接続します。
4. 同梱の USB ケーブルの長方形の端をコンピュータに接続します。
5. スキャナーを USB³ハブに接続する場合には必ず USB ハブとコンピュータを接続してからスキャナーを USB ハブに接続してください。

³ USB ハブはスキャナーには付属していません。ハブをご使用の場合は、外部電源アダプタを持つハブを使用することをお勧めします。

ステップ 2. ソフトウェアのインストール

1. スキャナーの電源を入れてください。



2. コンピュータの USB 機能が正しく動作している時には「新しいハードウェアが追加されました。」、「新しいハードウェアが見つかりました」というメッセージが自動的に表示されます。



スキャナーを接続中にコンピュータを切ると次回 Windows をスタートした時に「新しいハードウェアが追加されました。」というメッセージが表示されます。

3. Windows XP をご使用の場合
 - a. 付属の設定／アプリケーション DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに入れてください。
 - b. 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択して「次へ」のボタンをクリックします。
 - c. 表示されたウィンドウの「次へ」のボタンをクリックします。ステップ 8 に進んでください。
4. Windows Vista の場合
 - a. 「新しいハードウェアが追加されました。」が表示された時にはドライバーソフトウェアのインストール(推奨)を選択します。
 - b. 「ユーザーアカウントコントロール」のダイアログが表示されたら「次へ」のボタンをクリックしてください。
 - c. 「USB スキャナに付属のディスクを挿入してください」という表示が出たら、付属の設定／アプリケーション DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに入れ、「次へ」のボタンをクリックしてください。ステップ 8 に進んでください。
5. Windows 7 の場合

セットアップ/アプリケーション DVD-ROM がいくつかのスキャナモデル用の場合

- a. スキャナに同梱されていたセットアップ/アプリケーション DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入します。表示された[自動再生] ウィンドウで[install.exe の実行] をクリックします。
- b. [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスがポップアップしたら、[はい] ボタンをクリックします。ポップアップのインストールメッセージの指示に従います。
- c. [デバイスマネージャー] ウィンドウで、[ほかのデバイス] 項目の下からこのスキャナを右クリックし、ポップアップ メニューから[ドライバーソフトウェアの更新]を選択します。表示されたウィンドウで[コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します]をク

リックしてから、[参照]ボタンをクリックします。

- d. [フォルダーの参照]ウィンドウで、DVD-ROM ドライブまたはスキャナのドライバーを含むフォルダーを選択し、[OK]ボタンを押して前の画面に戻ります。[次へ] ボタンをクリックし、[Windows セキュリティ] ウィンドウが表示されたら、[このドライバーソフトウェアをインストールします] をクリックします。ステップ 9 に進んでください。

セットアップ/アプリケーション DVD-ROM が 1 つのスキャナモデル用の場合

- a. スキャナに同梱されていたセットアップ/アプリケーション DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入します。表示された[自動再生] ウィンドウで[install.exe の実行] をクリックします。
 - b. [ユーザーアカウント制御]ダイアログがポップアップしたら、[はい] ボタンをクリックします。ステップ 9 に進んでください。
6. Windows 8 / 10 / 11 の場合
- a. スキャナに同梱されていたセットアップ/アプリケーション DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入します。ポップアップ通知をクリックして、ポップアップウィンドウで **install.exe の実行** をクリックします。ポップアップ通知が表示されない場合は、Setup/Application (セットアップ/アプリケーション) DVD-ROM を取り出して再度挿入してください。
 - b. [ユーザーアカウント制御]ダイアログがポップアップしたら、[はい] ボタンをクリックします。ステップ 9 に進んでください。
7. インストール中に「Windows はドライバーの発行人を識別できません」といメッセージが表示されても、「ドライバーソフトウェアのインストール」をクリックしてインストールを続けてください。
8. インストールが完了したら「終了」ボタンをクリックします。
9. 画面の表示に従って必要な全ての新しいソフトウェアをインストールします。ポップアップのウィザードウィンドウが表示されたら、[次へ] をクリックします。[Windows セキュリティ] ウィンドウの [このドライバーソフトウェアをインストールします] をクリックし、次にウィザードウィンドウで [完了] をクリックします。
10. ソフトウェアをインストール後に全てのアプリケーションを終了し、「終了」ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



注意

将来ドライバおよびソフトウェアの再インストールが必要になった時に備えて、セットアップ/アプリケーション DVD-ROM は正しく保管してください。

ステップ 3. スキャナーのテスト


以下の手順に従ってスキャナーが正しく機能するかチェックしてください。テスト前にテスト接続を再度確認してください。

正しくテストするために以下の手順に従ってください。

1. スキャナーのドキュメントカバーを開けてください。スキャナーのスキャンングガラス面上に、スキャンングする面側を下にして原稿を載せてください。



2. ゆっくりとカバーを閉めてください。

3. Windows のシステムトレイに表示されている  アイコンをダブルクリックします。
4. “Book Pavilion” ウィンドウでは、モード設定をクリックして、スキャン設定を調節できます。また、スキャン画像の保存方法も設定できます。
5. スキャナーのパネル上に Color、Gray、B/W ボタンのいずれかのボタンを押してください。



6. スキャナーはすぐにスキャンを開始し、Book Pavilion ウィンドウで行った設定に従って処理を実行します。

ソフトウェアトラブルシューティング

本書並びにクイックガイドをよくお読みください。

問題が解決されない場合以下をチェックしてください。

- ハードディスクに 6GB の空き容量がありますか？
- スキャナに電源が供給されていますか？
- 付属の USB ケーブルをご使用ですか？
- USB ケーブルの正方形のプラグがスキャナに接続されていますか？
- USB ケーブルの長方形のプラグがコンピュータに接続されていますか？

本マニュアルに定義されているインストール手順から外れた場合は、スキャナから USB ケーブルを外して DVD-ROM からソフトウェアを再インストールしてください。

追加のソフトウェアのインストール

スキャナーは TWAIN に準拠しており TWAIN と互換性のあるソフトウェアは動作可能です。追加のソフトウェアを購入する際には TWAIN に準拠したものを選んでください。

第2章 使用方法とメンテナンス

スキャン操作


スキャナーを動作させるにはソフトウェアプログラムが必要です。テキスト、写真にかかわらずスキャナーが取り込んだ全てのドキュメントやイメージはコンピュータによりイメージとして取り扱われます。通常はスキャンした画像を閲覧、編集、保存、出力する画像処理のソフトウェアが使われます。

テキストドキュメントをスキャンしてワードプロセッサに取り込むには OCR (オプティカル キャラクター レコグニション) ソフトウェアを使用します。OCR ソフトウェアはスキャンしたテキストドキュメントのイメージファイルをテキストファイルに変換しワードプロセッサで見て、編集し、保存することができます。

スキャナーとコンピュータ、その他機器をシームレスに接続、動作させることが可能な Book Pavillion プログラムを使えば、スキャンの度に設定を行う必要はありません。スキャナーのフロントパネルのボタンを押すか、Book Pavillion の画面のメニューをクリックするだけで、スキャンを実行し、イメージを指定された方法で処理します。(プリンター出力、E-Mail、画像処理プログラム、等)

各プログラムをご使用の際にはオンラインヘルプをご参照ください。

準備

1. ドキュメントカバーを開けて本をスキャナーのガラス面の上に置いてください。スキャナーのハウジング内の  のマークのところに本の位置をあわせてください。
2. 静かにドキュメントカバーを閉めてください。



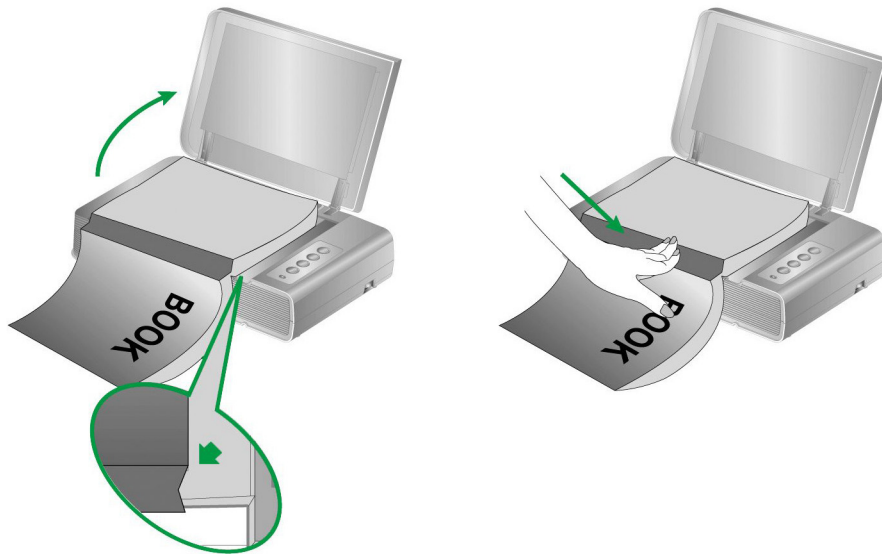
情報

厚い本をスキャンする時には、ガラス面と本の中央に隙間ができないよう背表紙を軽く押し付けてください。



警告

ドキュメントカバーを開けたままでスキャンする時にはスキャナーのランプを直接見ないでください。



イメージのスキャン

スキャナを動作させるには 3 つの異なる方法があります。


1. 付属の TWAIN インターフェイスを介して TWAIN 準拠のプログラムを使う。
2. スキャナーのスキャンボタン
3. Book Pavilion の画面のメニュー

TWAIN インターフェイス及び Book Pavilion はドライバーをインストールする際に自動的にインストールされます。

スキャンを開始する前に以下をチェックしてください。



注意

- スキャナーのロックが解除されておりスキャナーとコンピュータの電源が入っていることを確認してください。
-  アイコンが Windows のシステムトレイに表示されていることを確認してください。
- 本(ドキュメント)が正しくスキャナーのガラス面上に置かれていることを確認してください。

TWAIN インターフェイスを介してスキャンする

TWAIN プログラムはスキャナーに付属されているソフトウェアの中でも非常に重要な役割をします。このプログラムはスキャナ(ハードウェア)と画像を見たり、編集したりする画像編集ソフトウェアのインターフェイスとして機能します。TWAIN プログラムによりスキャンされた画像の品質を様々に設定することができます。

下記には TWAIN 互換プログラムを使って、TWAIN インタフェース経由でスキャンする方法が示されています。また TWAIN に準拠したスキャンングプログラム、画像編集アプリケーションをお使いいただくこともできます。

ご使用の TWAIN 互換プログラムにおいてスキャンします:

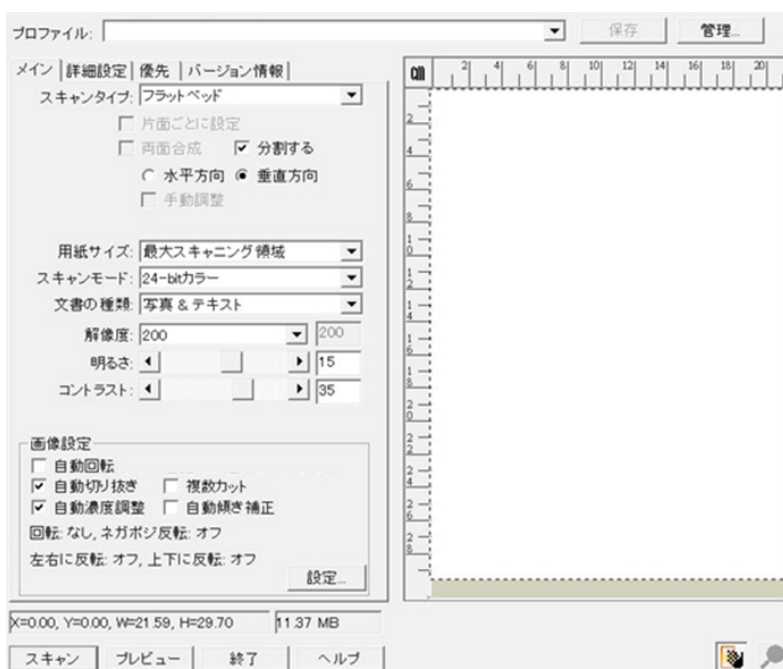
1. TWAIN 互換プログラムを起動させます。



注意

コンピュータに一つ以上のスキャナまたはイメージング機器がインストールされている場合には TWAIN プログラムを取得する前にこのスキャナをデフォルトスキャナとして設定する必要があります。設定については、ご使用の TWAIN 互換プログラムのマニュアルをご参照ください。

2. TWAIN 互換プログラムから TWAIN ウィンドウを開きます。詳細については TWAIN 互換プログラムのマニュアルをご参照ください。
3. TWAIN ウィンドウが開いたら給紙方法は「フラットベッド」を選択します。



4. スキャンの設定を行います。
5. プレビューボタンをクリックします。プレビューウィンドウにスキャンされた画像が表示されます。スキャンしたくない画像の部分取り除き、スキャンしたい画像を定義するには、イメージの隅をクリックしてからドラッグします。気にいらなければ再度繰り返して設定してください。
6. スキャンボタンをクリックします。
7. スキャンが終了したら終了ボタンをクリックして TWAIN ウィンドウを閉じます。スキャンされた画像は、TWAIN 互換プログラム内で表示されます。画像を修正、編集することができます。

設定の詳細は、TWAIN ウィンドウにあるヘルプボタンをクリックしてください。

スキャナーのパネルのボタンまたは Book Pavilion のメニュー画面からスキャンする

スキャナーのパネルのボタンは Book Pavilion を使って設定することができます。Book

Pavilion を使えば頻繁に使用するスキャン機能に素早くアクセスすることができます。連続して同じ設定でスキャンを行い、同じ目的のフォルダーにイメージを送る場合にはとりわけ便利です。



本書ではスキャナーのパネルのボタンの操作を説明します。Book Pavilion のメニュー画面からでも同じ操作を行うことができます。

ボタンの設定

最初にスキャナーのボタンを使ってスキャンする前にボタンの設定をすることを推奨しています。Book Pavilion でのボタンの設定には三通りの方法があります。

- スキャナーのパネル上に Color、Gray、B/W ボタンのいずれかのボタンを押してください。



- Windows のシステムトレイに表示されている  アイコンをダブルクリックします。
- Windows のシステムトレイに表示されている  アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから **設定** をクリックします。

“Book Pavilion” ウィンドウでは、**モード設定** をクリックして、スキャン設定を調節できます。また、スキャン画像の保存方法も設定できます。

設定の詳細は、Book Pavilion ウィンドウにある **ヘルプボタン** をクリックしてください。

ボタンを使ってスキャンする

スキャナーから本やドキュメントをスキャンするのはたった 2 つのステップしかなく非常に簡単です。

1. 本またはドキュメントをスキャナーの上に置いてください。






2. スキャナーのパネル上に Color、Gray、B/W ボタンのいずれかのボタンを押してください。



スキャナはすぐにスキャンを開始し、Book Pavilion ウィンドウで行った設定に従って処理を実行します。

スキャナの接続

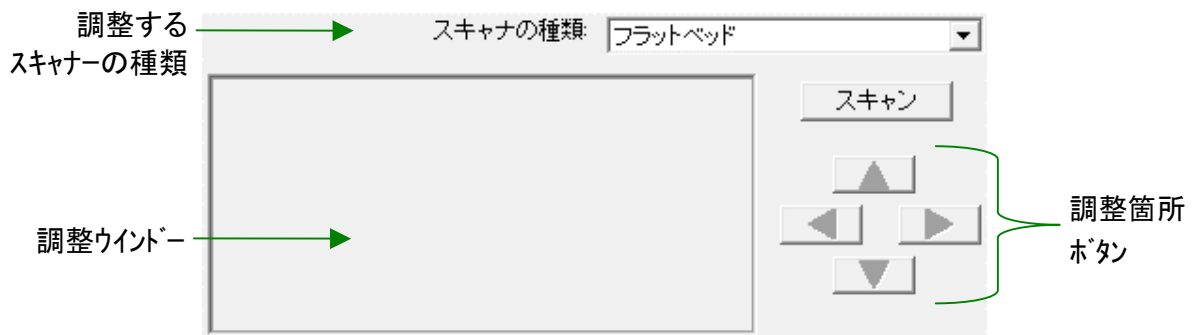
スキャナに問題があった場合、最初のトラブルシューティングはスキャナの物理的な接続をチェックすることです。スキャナとコンピュータが正しく接続されソフトウェアが正常に起動すると Windows システムトレイに  アイコンが表示されます。

表示	状態
	スキャナとコンピュータが正しく接続されソフトウェアが正常に起動しています。読取準備完了です。
	スキャナが接続されていないか、スキャナの電源が入っていません。
表示なし	スキャナが接続されている、されていないにもかかわらずソフトウェアが起動していません。(ソフトウェアが終了しています。)

スキャナの調整

通常スキャナは調整をする必要はありません。スキャンしたドキュメントの隅が欠落した場合等の場合にはスキャナを調整する必要があることがあります。

- ドキュメントの読取面を下向き、ドキュメント先頭部を右向きにしてスキャナのがラス面上に置きます。ドキュメントの左上隅を矢印ガイドに合わせてください。
- Windows のスタートメニューから、プログラム(P) > スキャナモデル名をポイントし、スキャナユーティリティをクリックします。(Windows 8.1 ユーザーの場合:マウスカーソルを画面の上または下右隅に合わせて「チャームバー」を開きます。[スタート]チャームをクリックし、画面左下にある下向き矢印 をクリックします。「アプリ」画面が表示されます。カーソルを画面の右端に移動して、「スキャナモデル名」が見つかるまで右にスクロールし、「スキャナユーティリティ」をクリックします。)
- スキャナユーティリティが開きます。スキャンポジションの調整でスキャナの種類のフラットベッドを選択します。



4. 「スキャン」ボタンをクリックします。ドキュメントの一部が調整ウインドーに表示されます。
5. スキャンしたドキュメントの左上隅が正しい位置になるよう調整箇所ボタン(上下左右)をクリックして調整を行います。
6. 調整が終了したら OK ボタンをクリックして設定を完了します。

スタンバイモード

電力消費を抑えるため、スキャナは一定時間アイドル状態になるとスタンバイモードに入ります。スタンバイモードに自動的に移行するまでのアイドル時間を設定したりできます。

1. Windows のスタート メニューから、プログラム(P) > スキャナモデル名をポイントし、スキャナユーティリティをクリックします。(Windows 8.1 ユーザーの場合:マウカーソルを画面の上または下右隅に合わせて「チャームバー」を開きます。[スタート]チャームをクリックし、画面左下にある下向き矢印 をクリックします。「アプリ」画面が表示されます。カーソルを画面の右端に移動して、「スキャナモデル名」が見つかるまで右にスクロールし、「スキャナユーティリティ」をクリックします。)
2. 表示される スキャナユーティリティ ウィンドウのスタンバイモードセクションから、設定したい機能のボタンをクリックします。スタンバイモード(スリープ)に自動的に移行する:スリープの前にあるボタンをクリックし、スキャナが自動的にスタンバイモードに移行するまでのデフォルト時間を上下矢印をクリックして設定します。



情報

それとも、スキャナが自動的にスタンバイモードに入るの時間を設定することができます。任意のスキャナボタンを押して、スキャナをスタンバイモードから復帰させることができます。

3. OK ボタンをクリックして設定を保存し終了します。



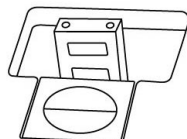
警告

- スキャナーをシャットダウンするにはスキャナーの側面にある電源スイッチを押してください。
- 長期間スキャナーを使用しない時にはスキャナーをシャットダウンして、電源コードをコンセントから抜いてください。

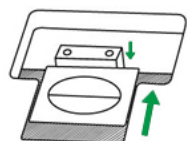
また、初期設定をクリックすると、デフォルト設定に復元されます。スキャナを節電モードから復帰させるには、スキャナボタンをどれか押します。

スキャナーのロック

光学部を保護するためにはスキャナーには 2 種類のロック状態があります。スキャナーを正しく動作させるために状況により適切なロックを選択してください。



オートロック は平らな面の上でスキャンする際に使用します。ロックヘッドが押し込まれていない時にはスキャナは自動的にロックされます。一般的な使い方です。



常時ロック解除は不安定、柔らかい面の上で使用する際に使われます。スキャナを常時同じ場所を使用する場合に常時ロック解除の状態のすることもできます。



スキャナーを移動、輸送する際には必ず常時ロックしてください。

使用方法とメンテナンス



注意

スキャナをスムーズに動作させるため下記の使用方法及びメンテナンスについての説明をお読みください。

- 埃っぽいところでスキャナを使用しないでください。埃の粒子や異物が損傷を与える恐れがあります。長期間使用しない場合には輸送用のビニール袋に入れてください。
- スキャナに過度の振動を与えないでください。内部の部品に損傷を与える恐れがあります。
- 研磨剤の入っていないガラスクリーナーをリントフリー（綿ぼこり無し）の布に軽くスプレーしスキャナのガラス面を掃除してください。最後に布でふき取ってください。クリーナーを直接ガラスにスプレーしないでください。液体が多すぎるとガラスの曇りや故障原因となります。

別表A: 製品仕様⁴

Plustek OpticBook 4800	
イメージセンサ	CCD
光源	LED
解像度 (オプティカル)	1200 dpi
ハードウェア解像度	1200 dpi x 2400 dpi
スキャンモード	カラー:入力 48 ビット、出力 24 ビット グレースケール:入力 16 ビット、出力 8 ビット モノクロ: 1 ビット
ブックエッジ	2mm
スキャン速度	3.6 秒 (カラー/ グレースケール/ モノクロ, 300dpi, A4)
スキャン領域	216 x 297 mm (8.5" x 11.69", A4/ Letter)
一日の推奨処理枚数	2,500
ボタン始動スキャン	Delete, B/W, Grayscale, Color
電源	24 Vdc / 0.75 A
電力消費	< 18 ワット (動作時), < 4.3 ワット (待機時)
接続	USB 2.0
重量	3.45 Kgs (7.6 Lbs)
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	491 x 291 x 102 mm (19.3" x 11.4" x 4")
プロトコル	TWAIN をサポート

⁴ ハードウェア仕様規格は事前の予告なしに変更される場合があります。

別表 B: カスタマーサービスと製品保証

当社ウェブサイト www.plustek.com より、カスタマーサービスの詳細情報が入手できます。には下記を事前に準備してください。

- スキャナーの名称及びモデル No.
- スキャナーのシリアル No.(スキャナーの底面に貼ってあります。)
- スキャナーDVD バージョンおよびパーツ番号
- 障害内容
- ご使用のコンピュータのメーカー名、モデル名
- ご使用のコンピュータの CPU 速度
- オペレーティングシステム及び BIOS
- ソフトウェア名、バージョン No.、リリース No.、ソフトウェアメーカー名
- インストールされているその他の USB 機器

サービスおよびサポート情報

必要時には交換部品入手可能期間および製品アップグレード情報が提供されます。これら情報は地元の代理店や販売店にお尋ねください。

対応する施行制度によって要求された情報。地元の代理店や販売店に施行制度のテストレポート情報をお尋ねください。

製品の処分はまず地元の代理店や販売店に正しい廃棄方法を確認して行うことで、環境への影響を最小限にとどめることができます。

製品や付属品の廃棄を望む場合、最寄りの廃棄業者への連絡方法を地元の代理店または販売店にお尋ねください。

メンテナンスが必要な場合は、最寄りのメンテナンスセンターへの連絡方法を地元の代理店または販売店にお尋ねになり、製品使用可能期間を延ばすことができます。

製品のメンテナンスや撤去が必要であれば、地元の代理店または販売店に最寄りのお店の情報をお尋ねください。

製品保証

製品保証は正規代理店から転売目的でなく自らの使用目的のために購入された方のみ適用されます。

メーカーの保証は部品、修理費用を含みますが購入時の領収書がない場合には保証は適用されません。製品保証サービスを受けるには弊社正規代理店、販売店にご連絡いただくか弊社のホームページからサービス情報をチェックしてください。E-Mail でのお問い合わせも受け付けております。

製品を他のユーザーに譲渡した場合、譲渡されたユーザーは保証の残存期間サービスを受けることができます。譲渡する場合には領収書等の購入時証拠書類も渡してください。

弊社では書類に記載された通りに製品が動作することを保証いたします。購入時の証拠書類の提示により交換された部品の保障期間は製品の残存期間と同じとします。

保証サービスで製品を持ち込む際には全てのプログラム、データ、脱着可能なストレージメディアは外してください。ガイド、ソフトウェアなしで返却された製品は、修理後ガイド、ソフトウェアなしで返却されます。

事故、天災、破壊、誤使用、不正使用、不適切な環境での使用、プログラムの変更、他の機械、本機の改造に対して製品保証は適用されません。

本機が本来設計された目的の用途で使用された場合にのみ製品保証は適用されます。

製品保証についてのお問い合わせはお買い求めになった正規販売店またはメーカーのお願いいたします。

この製品保証は明示、黙示を限定せずある目的のための目次的保証を含む他の全ての保証置き換わるものである。法律によっては黙示的保証の除外を許容しないことがあり、この場合全ての明示、黙示的保証は保障期間内にのみ限定される。この期間を過ぎた後はいかなる保証も適用されません。

黙示的な保証がどれだけ長く続くか制限を設けることを許容しない法律の場合には上記の制限は適用されません。

如何なる場合でも下記に対しては免責です。

1. 第三者が貴社(貴殿)に対して行う損失、損害の請求
2. 貴社(貴殿)の記録、データも喪失、損害
3. 因果的な経済的損失(遺失利益、節約を含む)、付随的な損害

付随的、因果的な損害の制限を排除することを許容しない法律の場合には上記の制限はまたは除外は適用されません。

製品保証は法的権利を与えるものであって、法律によって他の権利をもつこともありえます。

FCC 規格

この機器はテストの結果、FCC Rules の Part 15 に規定されたクラス B デジタル機器の限界値に適合していることが確認されています。この限界値は、商用環境で機器を使用した場合に発生する有害な妨害に対して、適切に保護するためのものです。この機器は、無線周波数エネルギーを生成し使用し、また放射することがあります。説明書どおりに設置して使用しないと、無線通信に対して有害な妨害を及ぼすことがあります。この機器を住宅環境で使用すると、有害な妨害が発生する可能性があります。その場合、ユーザーは個人の負担でその妨害に対処しなければなりません。

- 受信アンテナの方向を変えるか位置を変える。
- 装置と受信機の距離を離す。
- 受信機に使用しているコンセントとは別のコンセントに装置を接続する。
- 装置に付属しているシールド付き内部接続ケーブルとシールド付き電源コードは、当装置が電磁波放出限界を超えないよう常に使用する。
- 状況が改善されない場合は、購入先またはラジオ・テレビに詳しい技術者に問い合わせる。
- 製造者が明確に認めていない変更や改変は、ユーザーの装置を操作する権利を無効にします。

この製品は、FCC Rules の Part 15 に適合しています。次の 2 つの条件に従って運用します。(1) 有害な妨害を発生させてはならない。(2) 意図しない動作を引き起こす可能性がある場合も含めて、すべての受信妨害を受け入れなければならない。